

IBM Inventory Visibility

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

1.1 IBM Inventory Visibility – Base

Inventory Visibility は独立型のクラウド・サービス・オフリングです。Inventory Visibility は、さまざまな販売チャンネルにわたって在庫レベルを収集し、現在および将来のリアルタイムの在庫情報を総合的に表示して、効率のよい使用と見込みに対応します。また、内外のソース・ロケーションから在庫を集約して、現在のサプライ、輸送中の数量、および現在の需要を示します。Inventory Visibility は、IBM Order Management またはその他の注文管理システムのほか、財務、税金、支払い、およびその他の在庫関連のシステムと統合することができます。

Inventory Visibility は、完了 (ターミナル) の状態になる前に「クラウド・サービス」とやりとりする各種取引をサポートします。これには、売約定書、注文書、転送依頼書、一覧表、計画書、申告書、予約、出荷、および受領証などが含まれますが、これらに限定されません。かかる取引はそれぞれ、「クラウド・サービス」に必要な「オーダー・ライン」使用許諾の数を決めるために使用される 1 つの「オーダー」とみなされます。在庫状況に関する取引のうち、「クラウド・サービス」で管理または処理されるものの、完了 (ターミナル) の状態になるまでに「クラウド・サービス」とのやりとり (例: 現金取引や POS 取引) を行わない取引は、「クラウド・サービス」に必要な「オーダー・ライン」使用許諾の数を決めるために使用されることはありません。

本「クラウド・サービス」のサブスクリプション料金には、以下のリソースおよびサービスが含まれます。

- 実稼働環境: 1
- テスト環境: 1
- 後述の「セットアップ・サービス」の項に詳述されている「実稼働準備態勢」に先立つ、最大 3 か月のセットアップ作業。
- 災害復旧
 - 48 時間の目標復旧時間 (RTO) および 24 時間の目標復旧時点 (RPO)

本「サービス記述書」では、以下の用語は次のとおり定義されます。

お客様の拡張機能 – お客様により、またはお客様のために作成された「コンテンツ」のうち、お客様の固有のニーズに合わせて「クラウド・サービス」をパーソナライズする、「クラウド・サービス」に対するコード追加またはプロセス拡張機能に該当するものをいいます。「お客様の拡張機能」は、お客様の責任です。

実稼働環境 – 「クラウド・サービス」においてすべての「実行されている」ソフトウェアの最終的な結果として生じるポイントであり、お客様およびお客様のエンド・ユーザーがビジネス・プロセスや取引を実行するために運用ベースでアクセスしたり、使用したりする「クラウド・サービス」のアプリケーション、システム、およびサポート・システムのインフラストラクチャーで構成されます。

テスト環境 – 機能的に同等の単一の実稼働インスタンス、および、通常、「クラウド・サービス」の品質保証、性能および最終テストのために使用されるサポート・インフラストラクチャー («クラウド・サービス」アプリケーションおよび「お客様の拡張機能」が含まれます。) を提供する計算環境です。「テスト環境」には通常、その他の環境への最終的な移行の準備で展開される安定したコード・ストリームのみが用意されています。

1.2 追加のサービス

1.2.1 IBM Inventory Visibility – AddOn – Test Environment

1つの追加「テスト環境」を提供します。

1.2.2 IBM Inventory Visibility – AddOn – Time Objective

Inventory Visibility に含まれているリカバリー目標（災害目標復旧時間を4時間に、災害目標復旧時点を2時間に設定する基本サービス）を改善します。

1.2.3 IBM Inventory Visibility – AddOn – Time Zone Support

追加的な第2または第3のタイム・ゾーンで、「重要度1」以外のサポートを可能にします。

1.3 従量課金サービス

1.3.1 IBM Inventory Visibility – AddOn – Peak Hourly Burst Capability

「クラウド・サービス」でサポートされる1時間当たりのピーク「オーダー・ライン」の数量が、資格を有するピーク「オーダー・ライン」の上限を超える暦月に対応するため、お客様は、下記の「オフリング基準」項に明記された基準に超過分の資格を追加することができます。超過分の資格は、1時間当たり1000の「オーダー・ライン」を単位として引き上げることができ、従量課金ベースで請求されます。お客様が処理能力の拡張を要求した各月に、またお客様の使用のために当該資格が提供されている間に限り、お客様には、この資格の請求が行われます。本サービスは、バーストの発生が見込まれる月の遅くとも60日前に注文しなければなりません。

1.4 セットアップ・サービス

1.4.1 IBM Inventory Visibility – AddOn – Production Readiness Extension

IBMは、「クラウド・サービス」の「実稼働準備態勢」を整えるためのセットアップ作業を実施する期間を提供します。IBM Inventory Visibility のサブスクリプションには、最長3か月間のセットアップ期間が含まれています。セットアップ作業には以下が含まれます。

- a. 「クラウド・サービス」環境へのオンボーディング。
- b. ネットワーク接続およびお客様のバックエンド・システムとの相互接続の確立。
- c. お客様が、「お客様の拡張機能」の最初の導入を完了できるように「実稼働環境」を整えること。

「実稼働準備態勢」は、以下の基準が満たされたときに、達成されたものとみなされます。(1) セットアップ作業が完了したとき、および(2) お客様が、「実稼働環境」への「お客様の拡張機能」の最初の導入を完了したとき。

「取引文書」に明記された「クラウド・サービス」のサブスクリプション料金は、「実稼働準備態勢」の時点で開始します。

IBMの支配の及ばない理由により、セットアップ作業が該当するセットアップ期間を超える期間を要する場合は、お客様は、追加の各月ごとにIBM Inventory Visibility – AddOn – Production Readiness Extension について請求されます。セットアップ作業には実装サービスは含まれません。実装サービスは別個のサービス契約に基づいて処理されます。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用

可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=B8EE76103F1811E7BE8E09C6CE305F89>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電話、電子メール、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide (https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「10万オーダー・ライン」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「注文」とは、「クラウド・サービス」で定義される文書タイプです。「オーダー・ライン」は、「注文」の行項目です。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に、「クラウド・サービス」によって管理または処理される「オーダー・ライン」の総数(「10万」単位で切り上げ)をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「1000 オーダー・ライン」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「注文」とは、「クラウド・サービス」で定義される文書タイプです。「オーダー・ライン」は、「注文」の行項目です。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に、「クラウド・サービス」によって管理または処理される「オーダー・ライン」の総数(「1000」単位で切り上げ)をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 セットアップ料金

1回限りのセットアップ料金は、発注された各セットアップ・サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

5.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

5.4 従量課金制

従量課金制の料金は、かかる使用の翌月に「取引文書」に記載された料金で請求されます。

5.5 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

7.2 オファリング標準

本項は、各 Edition サブスクリプションの特定の機能ならびに技術上の制限およびパラメーターを説明したオファリングの標準(以下「オファリング標準」といいます。)を定めたものです。IBM とお客様の間で別途書面にて合意されない限り、お客様による「クラウド・サービス」の使用および「クラウド・サービス」の実装または設定ならびに「お客様の拡張機能」は、下記の「オファリング標準」に定める制限およびパラメーターが適用されます。以下の制限およびパラメーターを超える使用には、IBM の書面による同意を必要とし、関連する実装またカスタマイズ・サービスの料金に加えて、「クラウド・サービス」の追加料金が課される場合があります。

「クラウド・サービス」のサポート対象である 1 時間当たりのピークの「オーダー・ライン」は、サブスクリプションされた年間の「10 万ライン」数の増加に応じて増加します。お客様が一時的または永久的に 1 時間当たりのピークの「オーダー・ライン」の増加を希望する場合、「ピーク時間当たりのバースト機能」アドオンを注文する必要があります。この数字を超える場合、「クラウド・サービス」の性能が低下し、SLA が適用されなくなる場合があります。「ピーク時間当たりのバースト機能」アドオンを購入することで、追加容量を取得することができます。

この表は、加入した「10 万オーダー・ライン」のライセンス・ユニットの数についてサポート対象の 1 時間当たりのピークの「オーダー・ライン」を示したものです。

サブスクリプションされた 「10 万オーダー・ライン」単位の数	1 時間当たりのピーク・オーダー・ライン
1	500
2 ~ 5	2,500
6 ~ 10	5,000
11 ~ 17	6,000
18 ~ 25	9,000
26 ~ 37	10,000
38 ~ 50	18,000
51 ~ 75	20,000
76 ~ 100	24,000

サブスクリプションされた 「10万オーダー・ライン」単位の数	1時間当たりのピーク・オーダー・ライン
101 ~ 125	30,000
126 ~ 250	40,000
251 ~ 275	50,000
276 ~ 500	60,000
501 ~ 750	70,000
751 ~ 1,000	80,000
1,001 ~ 1,250	120,000
1,251 ~ 2,500	155,000
2,501 ~ 3,750	260,000
3,751 ~ 5,000	360,000
5,001 ~ 7,500	500,000
7,501 ~ 10,000	800,000
10,001 以上	実際の要件に基づき IBM が決定します。

「10万オーダー・ライン」を42単位サブスクリプションしたお客様は、18,000ラインの「1時間当たりのピーク・オーダー・ライン」を有することができます。「ピーク時間当たりのライン機能」アドオンのサブスクリプションにより、お客様は、「1000オーダー・ライン」使用許諾ごとに、1時間当たり1,000件の「オーダー・ライン」単位で容量を増やすことができます。複数の追加単位を購入して、1時間当たり1000オーダー・ライン単位で容量を増やすことができます。